

本時のねらい

・九州地方の自然環境が人々の生活や産業に与えている影響についてグループで考えることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・班で共同作業を行うことによって、意見交流の場をを活かす。
・班で作成したものをモニターで表示し、他の班の状況を確認できるようにする。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・タブレット端末 ・学習アプリ（・Google クラスルーム ・Google ジャムボード） ・教員作成スライド（パワーポイント） ・大型モニター

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○これまで学習してきた九州地方について確認する。 ○めあてを提示する。 「九州地方の自然環境は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろう。」 【写真1】	・スライドで解説する。
展開 (35分)	○各班のジャムボードに、九州地方について学習した語句を書きだす。 ○書き出した語句の中から、自然環境に関するものをまとめる。 ○自然環境以外にあげた語句について、どの自然環境が影響しているか考え、結び付ける。 【写真2】	・ジャムボード上に1つ1つ特色を付箋機能で書き出していき、適宜、各班のジャムボードを順にスクリーンに映し、全体で共有し、確認する。 ・自然環境に関する内容について、ジャムボード上の付箋の色を統一させることで自然環境に関わる語句であることを明確にする。 ・自然環境以外の内容が、どの自然環境の特色が影響しているかを考え、ジャムボード上の付箋の色を変え、影響している自然環境の付箋の近くに移動させる。
まとめ (10分)	○各班のジャムボードをスクリーンに提示し、発表する。 ○本時の振り返りを行う。 【写真3】	・クラスルームに「九州地方の自然環境は、人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろう。」という問いを投稿し、生徒たちに各自考えを記入させる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】 教師がこれまでの学習について振り返っている様子



【写真2】 班で意見を交流して活動している様子クラウド活用により共同編集を行っている。



【写真3】 まとめを発表している際のジャムボード

児童生徒の反応や変容

・九州地方で学習した語句を書き出す際に、これまでのノートや教科書を見返し、学習を振り返っていた。
・紙ではなく、タブレット上で行ったことで、何度も書き加えたり消したりすることができることから、九州地方について学習した語句を積極的に書き出すことができた。
・班のメンバー全員で同じ画面を共有することで、声をかけあいながら、活発に交流することができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・初めに自然環境だけを書き出すのではなく、まずは九州地方について学習したことすべてを書き出してから自然環境についてまとめたことで、自然環境を中心とした考察をすることができた。適宜各班の状況を前のスクリーンで確認することで、自分たちの班にはない意見を補い、考えを深めることができた。